

もり まち
 森林を活かす都市の木造化推進議員連盟
 現地視察（宮城県仙台市）について
 【視察報告】

1. 日 時：令和2年10月23日（金）

2. 視察先：宮城県仙台市

たかそう
 高惣木工ビル建設現場（仙台駅東口）



建設現場外観
 （仙台駅東口から）

3. 出席議員

中谷 元	顧問（衆）	櫻田 義孝	顧問（衆）
吉野 正芳	会長（衆）	谷 公一	副会長（衆）
金子 恭之	幹事長（衆）	伊藤信太郎	衆議院議員
平口 洋	幹事（衆）	小島 敏文	事務局長（衆）
鈴木 憲和	事務局次長（衆）	滝波 宏文	事務局次長（参）
高野光二郎	幹事（参）		

4. 概要説明等及び意見交換

【(株)シェルター（設計・施工者）から概要説明等】

- ・ 構造用製材を主要構造部に用いた純木造の高層ビルであり、COOL WOOD®を使用して1～3階は2時間、4～7階は1時間の耐火性能としている。
- ・ 一般流通している構造用製材を用いること、梁や階高を長くしすぎず既存の技術で建築可能なこと、他構造と比較してコスト面で引けを取らないこと（坪120万円）などを基本コンセプトとしている。
- ・ 木材調達は被災地を中心に行い、森林認証材を利用している。
- ・ このビルのことは、海外で日本のニュースを放送するNHK Worldで紹介され、これを見たドイツの建築士からも称賛されている。



議連吉野会長ご挨拶



(株)シェルター木村会長ご挨拶

【意見交換における主な意見等】

- ・ 外装など目につきやすい部分に木材を使ってPR する方がよいが、このためには防耐火性能や劣化の問題などを考慮し、適材適所での使い方や技術開発等を進めていくことが必要。
- ・ 木造化を進めるためには、コスト面で競争力を持つことが重要。
- ・ 一般の方が見えるように木材の産地が表示されるような工夫をした方がよいのではないか。



(株) シェルターから現場の説明



(株) シェルターから束ね柱の説明



現場での意見交換



現場内